

北海道創生総合戦略の今年度の主な推進状況 (2020年2月)

総合戦略の重点戦略プロジェクトに関連する取組のうち地方創生推進交付金を活用した主な取組。

1. 安心のまち・暮らし「住まいる北海道」プロジェクト

◆U I J ターンによる起業・就業者創出

- ・東京圏から地方へ移住・起業した者に対し、最大 300 万円の支援金を支給。
(R1：移住者 3 人、起業家 12 人)
- ・移住支援金の対象となる求人を掲載するマッチングサイトを開設し、周知のためのセミナーを R 1 年 8 月に東京で開催。

◆若年人材の還流促進と新たな仕事・働き方創出事業

○「関係人口」の拡大・創出

- ・道内で活躍する移住者と首都圏の若者との交流会の開催。SNS を通じた首都圏の若者とのネットワークの構築。(ネットワーク参加者数 681 人(R2.1 月現在))
- ・農村ツーリズムを通じた教育旅行、農林漁業体験等プログラムの受入体制整備、ネットワーク研修会、SNS による情報発信など。

○若年人材の希望を叶える、新たな「しごと」「働き方」を創出】

- ・サテライトオフィス、IT 関連企業等の研究開発拠点等の誘致。本道の優位性に関する企業向けプレゼンテーション、トップセールスの実施など。
- ・首都圏企業等の社員を対象に、サテライトオフィス等を活用した「北海道型ワーケーション」を実施。(R 1 参加市町村：16 市町)

2. 北のめぐみ「資源・ひと・経済好循環」創出プロジェクト

◆プロフェッショナル人材センター運営事業費

- ・中小企業等を対象にプロフェッショナル人材の必要性等に関するセミナーを開催。
- ・民間人材ビジネス事業者の登録制度を設け、中小企業等からプロフェッショナル人材のニーズがあった場合に登録民間人材ビジネス事業者を通じて必要な人材を紹介。
(道外プロフェッショナル人材が道内企業に就職した人数：69 人 (H29～R1.12 月累計))

◆外国人の活躍×グローバルビジネス拡大

○グローバルビジネス拡大事業

- ・海外からの投資を促進するため、観光や食、IT 分野等を中心に投資家の招聘を実施。
- ・大型商談会への出展など中国市場への食の海外展開促進・需要拡大の取組を実施。
香港・台湾への道産食品の販路拡大に向けた企業等に対する研修などを実施。

○外国人材の受入支援

- ・外国人材採用相談会の開催 (外国人材採用経験のない道内企業等に対するセミナー・相談会を道内 6 箇所で開催)

- ・地域の企業、関係団体、市町村からなる外国人地域サポート体制を道内 4 地域で構築。

○外国人が暮らしやすい環境づくり

- 外国人からの生活・就労に関する相談に多言語で対応する「北海道外国人相談センター」を開設。(R1 相談件数：227 件(R1.12 月末現在))

3. 未来を拓く「攻めの農・林・水産業」確立プロジェクト

◆企業・異分野連携による次代を創る農林水産業の確立

- ・ロボット技術やAI・IoTを活用した「スマート農業」を推進するため、地域営農体制確立に向けた支援や、普及人材研修体制の整備、牧草の生産実証などを実施。
- ・道産CLTの普及PRのためのセミナーの開催、技術者育成に向けた設計・施行方法などの研修会の開催等。
- ・日本海地域の漁家安定化に向け、養殖業導入と新たな漁業種類への着業による経営の多角化を図るための実証試験等への支援を実施。

◆北海道の美味しい農林水産物でつくるハイグレードな食・創造ビジネスモデル

- 北海道の「食」の高付加価値化・競争力強化を図るため、道内の優れた農水産物の特性を活かした食品加工等商品開発・販路拡大に取り組む専門人材の育成、競争力の高い研究・商品開発、商品の磨き上げ・ブランド化などの取組を実施。
- 商品開発・販路拡大に取り組む専門人材の育成
(基礎コース：道内研修7日間、東京研修2日間実施、
地域ワークショップ：2回実施(R2.1~2月実施予定8回))
- 商品の磨き上げ・ブランド化(個別相談会：道内8回・首都圏1回実施)

◆ワイン産地「HOKKAIDO」の形成

- ・ワイン用ぶどうの生産者やワイナリー等の関係者が一体で構成する苗木の共同購入組織の構築を検討したほか、単収格差要因等の調査を実施。
- ・ワイン生産を担う高度人材の育成・確保に向けた、ぶどう栽培、醸造、マーケティング技術についての実践研修や、流通の専門家による商品開発・販路拡大等の研修会を開催。
(プレゼンテーション能力向上研修：参加ワイナリー11者、参加者約430名)

4. 輝く「アジアのHOKKAIDO」創造プロジェクト

◆北海道DMOを核としたインバウンド等の受入環境づくり

道内における「日本版DMO」の形成・確立を促進するための取組を支援するとともに、広域連携DMOの登録を受けた観光振興機構のマーケティング力の強化を図るため、ホームページのデータ分析等を実施。

◆ウポポイ(民族共生象徴空間)を核とした誘客促進

ウポポイ(民族共生象徴空間)の一般公開に向け、道内外の機運醸成やインバウンドなどの誘客促進を図るため、国内外プロモーション、VR/ARを活用したアイヌ文化の魅力のPRなどを実施。(PRイベント道内5回、道外3回開催)

5. 多様な交流・連携と「北海道型地域自律圏」形成プロジェクト

◆「さっぽろ圏」若者定着促進広域連携事業

若者の地元定着、人材還流の促進に向け、石狩振興局が中心となり、管内の大学や市町村、地元企業等と連携しながら、中学生による職場体験、大学生による管内企業見学・交流会(3回)、若手社員と大学生の交流会(2回)、就業力育成セミナー、保護者向け就活セミナーを実施。

◆北海道くしろ地域・東京特別区交流推進事業

- ・首都圏における販路及び交流人口の拡大に向け、東京都荒川区において「北海道くしろ!旬!秋の味覚市」を開催。(R1.11月)
- ・首都圏における「くしろ地域産食材」の知名度向上及び販路拡大を図るため、東京都荒川区内を中心とした飲食店関係者等を対象とした試食会を実施。(R1.10月開催)

